



東京スクエア

第70号

2010年10月11日

発行：東京スクエアダンスクラブ

〒168-0063 杉並区和泉4-42-32
方南ハイツ1004 和田勝

TEL/FAX: 03-3316-4418

E-mail: tokyosdc@aa.alles.or.jp

創立48周年を迎えて

会長 和田勝



会員の皆さん、創立48周年おめでとうございます。例年迎える創立記念パーティーですが会員の皆さんと今回もこうして元気に迎えらるる喜びに感謝したいと思います。会員の高齢化(気持は若いのですが)と共に体調、体力の低下や家族、社会情勢の変化等により従来どおりSDを楽しめなくなった方も多く見受けられます。

まずは健康が第一です。そして無理をせず、SDを楽しみ、多くのお友達と交流を深め、クラブ運営に参画し、その達成感を味わう事が大切ではないでしょうか。SDを通じての趣味の会である当クラブの基本は、会員全員が仲良く、ダンスを楽しみ、そしてクラブ運営に参画し、自分自身の人生を豊かにする事にあります。即ち楽しむためのダンスやコール技術の錬磨、会場や音響設備等の整備、そして積極的な委員会運営への参画と行動、また相手の立場を理解するホスピタリティーの精神を会員各自が自覚し、古いメンバーも新しいメンバーも東京SDCのメンバーであることに誇りを持っていこうではありませんか。

来年春に開催されるビギナークラスへの人集めはまず例会が楽しいと会員が感じる中で、その楽しさを募集の意欲に繋げようと例会プログラムをはじめ催物等行事に工夫を検討し始めました。

毎月の第一土曜日をSD見学会日として一般の

方々にSDを体験して頂き、初心者講習会の募集に結び付けようと8月より開始しました。従来のいろいろな実施方法を検討し、そして新しいアイデア等果敢に挑戦し、取り組んで行こうではありませんか。

2012年10月には創立50周年の記念大会を実施致します。既に準備が始まっており、ゲストコーラーに45周年と同様にアメリカのトップコーラー5人を招聘致します。

このニュースはオーストラリア、ニュージーランド、台湾で高い関心を集めており、きっと素晴らしいインターナショナルな大会となるでしょう。今回のアニバーサリー終了後改めて50周年記念大会へのキックオフが行われます。創立50周年を2年後に控え、当クラブのますますの継続発展を考えた時、組織運営の在り方、会場問題、人材活用と人材育成等検討を更に進めなくてはなりません。会員全員の協力をお願い致します。

最後に私の「マイルストーン賞」受賞に対し、皆様から心温まるお言葉や祝花、記念品等を頂戴し心より御礼を申し上げ、微力ではありますが今後のSD普及発展に努力を致します。有難う御座いました。

速報

東京スクエアダンスクラブ 50周年記念パーティー

日時：2012年10月12日(金)～14日(日)
3日間

会場：ホテルイースト21東京
(東京都江東区東陽6-3-3)

ゲストコーラーは全米トップコーラー5人です。

Wade Driver, Mike Seastrom,
Tim Marriner, Raudy Dougherty,
Dee Dee Dougherty Lottie

ご期待下さい！！

★ 東スケの多彩なコーラー・キュアーを紹介します!! ★

現在活躍している東スケのコーラー、キュアーの皆さんに「普段の例会で心がけている
“My calling” “My cueing” について」語ってもらいました。

(五十音順)

コーラー 伊藤 光雄



- ① コールのビートをはずさないこと。
- ② 会場全体を見渡しダンスが途絶えているセットがないようにする、そのようなセットがあった場合すみやかに回復するように導く。
- ③ 必ずゲットアウトするよう心がける。

コーラー 八百幸 圭子



会場の全セットの凡そ2割以上は壊れないように心がけています。(但し、スターチップはその限りではありません)
そのためにはテンポが速すぎないように、なるべくはっきり発音するように気をつけています。

コーラー 大崎 和代



例会が楽しく、盛り上がる雰囲気作りを心掛けています。スムーズな動き、心地よいテンポ、ちょっとした意外性など工夫しています。

コーラー 若松 訓



テンポ、ボディーフローの良い、ちょっと意外性のあるコールを意識しています。会員の皆さんが、来週も例会に出席しようと思うような楽しいコールを心掛けています。

コーラー 沖吉 和祐



「寒露。露を結び始め、秋本番。菊の季節になります。」コールにあわせて、季節の移ろいや草花、出来事などを話題にしています。ダンスと共に、生活の中に楽しみや感動を持ちたいですね。

コーラー 若松 眞紀子



コールを始めてやっと6年まだ6年・・・勉強することがたくさんある毎日です。心がけていることは、その時偶然にできた8人でのそのセット、その8人の輪と、楽しい時間を共有できたらいいな、と思っています。いつも踊って下さり、ありがとうございます。

コーラー 相良 ゆう子



誰に何をしてもらいたいのかクリアにダンサーに伝わってるか？
body flow, hand work は？自分のコールで自分が踊って楽しい？

コーラー 和田 勝



明快でテンポの良いリズム感のある聞き易いコール、そして解り易い指導、ダンサーを踊らせ、ダンサーと一体感を持ったコールを心掛けたい。

コーラー 八百幸 紘



楽しい曲で、皆が踊れるダンスを目指してコールするよう努力します。
でも時にはちょっと難しいやつ、引っかけコールも！あるやも。

キュアー 金子 清史



RDは、曲の雰囲気が重要ですので、音楽を邪魔しない声の大きさで、曲のムードに合った声の出し方とタイミングを意識しています。

第49回 全日本スクエアダンスコンベンション in 仙台 開催!!

主催:一般社団法人日本スクエアダンス協会
主管:一般社団法人日本スクエアダンス協会東北統括支部

『伊達な街仙台 ケヤキ並木にあふれる笑顔』の合言葉のもと、全国から集まった皆さんと一緒に、東スケの参加者36名もダンスに、エキシビションに、オプションツアーに、仙台の街歩きにと3日間大いに楽しみました。

最後に来年記念すべき第50回日本スクエアダンスコンベンションを主管する関東甲信越支部より『半世紀楽しさ未来へ in 東京』の合言葉と東京音頭で幕が下りました。

コンベンションに参加して

中谷 昌江

今年も例年のない猛暑の中、第49回全日本スクエアダンスコンベンションが8月27日から3日間、仙台の国際ホテルで開催されました。

全国から830名のたくさんの参加者が集まり、大きなパーティとなりました。

今年でスクエアダンスに片足(?)を踏み入れてから4年目、初めてコンベンションなるものにドキドキしながら参加しました。開催地の仙台もまだ訪れたことがない町なのでこれも楽しみでした。

お昼過ぎに、車で会場入りをしたのですが、運転の疲れを感じている間もなく、速攻着替えてダンス、ダンスです。



ラウンドダンスも含めレベルごとに設けられた6つの会場は、早くもダンサーの熱気でいっぱいでした。当然のことですが、会場では知らない方ばかりで不安の中、今回も多数の参加をした東スケの先輩方に声をかけていただき、楽しく踊ることができました。また、様々なコーラーさんのコールで踊ったのも大変勉強になりました。

朝から夜遅くまでのダンス三昧の中、ちょっと抜け出し仙台名物の牛タンもしっかり味わってまいりました。少々忙しく疲れましたが充実した3日間を過ごさせていただきました。

そして、多少のアクシデントはありましたが、エキシビションなど終日パーティを盛り上げて頂いた東北統括支部の方々に感謝したいと思います。



全日本コンベンションin仙台に参加して

陳 英顕

初めて全日本コンベンションに参加しました。楽しかったです。元々仙台市は台湾と非常に良い関係にあります。台湾の台南市と友好交流都市提携を結んでおり、互いに七夕祭りを開催し、度々交流をしています。



仙台には仙・台友好交流促進協会という組織まで立ち上がっています。仙台商工会議所も台北輸出入組合と姉妹提携をしています。仙台は私にとって好感度のある都市です。もっと触れてみたいと思い、行く前にちゃんと仙台についての観光情報を調べました。あの名勝地の松島をもう一度巡ろうか、有名なケヤキ並木の定禅寺通りを悠々と散策しようか、牛タン専門店を楽しもうかと、いろいろ考えましたが、結果として、仙台国際ホテルからは一歩も出ず、三日間全日程に参加して踊ってしまいました。楽しかったです。特にプラスレベルを中心に汗をいっぱい流しました。とてもいい経験でした、ダンサーとして大変満足しています。不思議なことは普段一日運動したら、疲れがでて翌日は休みというパターンでしたが、今回みたいに長く踊れるのは自分でも予想外です。多分、体の疲れた分は精神的な満足でカバーしているのでしょうか？それとも心の底からスクエアダンスが好きなのかも知れません？

アジアの中で、こんな大規模なイベントの開催を、最も上手く運営できるのはやはり日本です。終始盛

り上げていて楽しい雰囲気醸成し、充実したコンテンツの中、優雅な仲間同士と一緒に楽しめるのは、最高のレジャーです。日本は経済大国だけではなく、文化、レジャーにおいても大国です。この国の豊かさやダンサーの幸せさをあらためて認識しました。

振り返ってみて、印象に深く残ったことが幾つかあります。

一つ、S協の組織がしっかりしています。主要幹部が皆揃って主管の東北統括支部と一丸となって支援し、細かい分業体制で運営がされていることは素晴らしいです。

一つ、人材豊富であること。コーラーが1000人もいることは凄いと言いきりません。かつ、ハイレベルで美人コーラーもいるし、若手コーラーもいるし、ユーモアな方も多し、伊藤達彦様の風格が好きです。

一つ、教育プログラムの企画が良かったです。聞いていて、ますます伊達政宗公の魅力が伝わってきました。

一つ、楽天チアガールによるエキシビションは良かったです。あの若さ、笑顔、情熱的、元気な演技はきっと東北地域のファンを楽しませ、楽天チームへの愛着に貢献していることでしょう。

一つ、こんな良いコンベンションに、もし海外から沢山の愛好者が参加できたらもっと楽しく、盛り上がるのではないかと思います。来年度の東京での開催にも期待がもてそうです。



第61回 DoSaDo Party

第61回DoSaDo Partyが、8月22日錦糸町の産業会館で開催されました。今回、我がクラブは新人さんがいませんでしたが、2,3年の会員を中心に55人のメンバーが参加し大いに楽しみました。講師の方々、S都連の幹事の皆さんありがとうございました。



★ ★ 第59回 ナショナルSDコンベンション ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ in ルイビル ★ ★ ★ ★ ★

アメリカ ケンタッキー州ルイビルで開催される「ナショナルSDコンベンション」に参加する為、東スケ和田会長主催のツアーに全国から集まった18クラブ43名の方達と6月18日成田を出発しました。ツアーは6月18日(金)～28日(月)観光、シカゴで地元クラブとの交歓会、そしてコンベンション参加です。

1日目飛行機を乗り継いでカナダへ。

2日目ナイアガラ観光。「霧の乙女」号に乗船し雄大なナイアガラの滝見物。

3日目ニューヨーク市内観光。ジョン・レノンの住んでいたダコタハウス、セントラルパーク、エンパイアステートビル、ウォール街、グラウンド・ゼロ等を廻り午後はフリータイム。

4日目 シカゴで地元クラブ[Square Spares & Pairs SD Club]との交歓会。会場の広い体育館の一隅にはメンバーの皆さんの手作りの豪華な夕食が用意されていました。フライドチキン、サラダ、肉料理、野菜料理、煮込み料理、ケーキ、フルーツ等・等・等。近隣22クラブの方達も集まって約250名でダンス開始。SDとRDが交互に踊られコーラーはTom Davis氏 キュアーはWally Smulson氏、日本からは和田勝氏、田中好一氏、磯部章三氏、八百幸圭子氏、入野尚子氏、若松真紀子氏の6名がコール。クラブメンバーの方や参加ダンサーの方達の友好的な笑顔で和やかにゆったりとダンスを楽しみました。

5日目 シカゴ市内観光。ミシガン湖、ウイリスタワー(442メートル110階)等。ウイリスタワー103階の

展望室西側には壁面から空中に張り出している展望台(The Ledge)があり、床も周囲も全部ガラス張りで真下に街の風景が広がっています。怖いけれど絶景!!午後はフリータイム。

6日目～9日目 いよいよルイビルへ。23日の前夜祭から26日までコンベンションに参加。会場のKentucky Fair and Expo Centerには約6300名の参加があり 著名コーラーも多数参加。日本からは和田氏、田中氏、八百幸(圭)氏、若松(真)氏がエントリーしました。ダンスはSDがMS～C3、その他RD始め多彩なダンスが幾つもの会場で踊られていました。ダンス関連のショップのブースも有り、CDやレコード、コスチューム、パニエ、靴、アクセサリー、小物類等いろいろ有って、男性陣 女性陣ともに買い物を楽しみました。

26日にはアリーナで「パレード オブ ステイツ」が有り全米各州及び海外参加者がそれぞれ小旗やクラブ旗等をもつてのパレードも有りました。また夜は「第50回全日本SDコンベンションin東京」に初来日予定の「Gost Riders SD Band」の演奏で、トップコーラーによるSingingで踊る楽しさを満喫しました

11日間のツアーも無事終わり、28日全員元気に帰国。お知り合いになった皆さんと又どこかのパーティでお目にかかることを楽しみに散会しました。

どこの国の人とでも、初めて会った人とでも一緒にダンスを楽しめるスクエアダンスの良さを改めて体感したコンベンションでした。 榎本 満子



クラブ交歓会



ルイビル



ルイビル



クラブ交歓会



ルイビル：パレード



ミシガン湖

2010年 NEW コスチューム

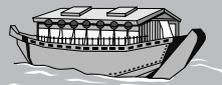
コスチューム委員 板垣 越子

今年のコスチューム委員が選んだ年度コスチュームは、ハワイアンキルトで有名なキャシー中島のハワイアン柄です。原色でない赤、緑、黄色、ピンクなどが入ったプリント柄で、女性は各自デザインを考え他の生地と組み合わせて作りました。ハワイアン柄なので、波をイメージした人、緑色があるので山をイメージし作った人、白の生地と組み合わせ



てさわやかさを出した人など、同じプリントで沢山の個性豊かなコスチュームが出来ました。今年のプリントは多彩な色が使われていたので、

それぞれいろいろなイメージを持ったようです。男性は、白色の生地と組み合わせでお揃いです。この生地を選ぶにあたっては、今年の全国コンベンションの開催場所仙台にちなみ若草色を基調とし、100名近いまとまった生地があるものなどを考えて生地選びを進めてきました。コスチューム委員はもとより会員の協力もあり、あっという間に100名分の生地は完売しました。会員の貴重なご意見や今年の反省を次回につなげて行きたいと思います。



暑気 払い



遊覧船で暑気払い

企画委員 安積 佑三

いつになく暑い今年の夏、涼を求めて東京湾を一回りする遊覧船での暑気払いに、29名の会員が参加。9名が浴衣を着て参加し、いつものコスチュームとは違った雰囲気、それは楽しい集まりになりました。

夜の7時過ぎに竹芝桟橋を出航した船は、レインボーブリッジをくぐって東京湾内を一回り。船上から見る東京は色とりどりの明るさで、夢のような景色でした。船内では、着物ガールズのダンスやバンドの演奏が催され、出店も沢山出ていてとてもにぎやか。皆さんコップ片手に涼を楽しみました。いつもはダンスだけであまりお話をしない人とも楽しく語り、新しい友になった人もおいでのよう。友の和を広げて東スケを盛り上げようとのこの企画大成功に終わりました。



ツインクルレース観戦ツアー

企画委員 若松 眞紀子

企画委員会第二弾のイベントとして、9月3日(金)、大井競馬場・ツインクルレース観戦ツアーを行いました。ビュッフェスタイルのレストランで、食べ放題&飲み放題(ソフトドリンク)もちろん競馬かけ放題の企画に36人が参加しました。競馬場に来たことがなくても、教えてもらいながら、競馬を体験し、当たった!はずれた・・・と悲喜こもごも、夜になると、イルミネーションがきれいでした。

一部、みんな真剣に予想に没頭し、親睦にならない(?)との声もありましたが、非日常を体験した楽しいひと時でした。お腹は満足したけど、懐は・・・?



東スケが好きです

普及委員 藤井 保憲

<クラブ> にとって「クラブ」とは、仕事の付き合いでも親戚でもご近所でもないいろいろな人達と仲間としてさらりと触れ合える場、です。それはしがらみや日々の雑務に囚われた気持ちを素直にしてくれますし、さまざまな人間的魅力を発見する新鮮な驚きの場でもあります。人生の貴重な「ほっとステーション」です。

ただ、そうした「さらりとした人間関係を楽しめるクラブ」に出会えるのは容易ではありません。嫌ならいつでも離れられるものですから、クラブを存続させるためには、クラブが大切な場であるという気持ちをクラブ員が共有し、「そこに来れば仲間」というクラブ員意識が醸成されている必要があります。複雑な人間関係がクラブ内に持ち込まれたりするとクラブは容易に崩壊しますし、そうした例も多く見られるところです。

東スケは私が憧れてきた「クラブ」といえるクラブです。長い時間を掛けて、お互いがお互いを思いやる気持ちが行き渡り、遊び心があり、大人の聡明さを持った「クラブ」に育っています。一度壊して再び同じ雰囲気クラブを作ることとは不可能という気さえします。ですからこの東スケの「クラブ」としての魅力を皆で協力して大事にしていきたいと思っています。

<スクエアダンス> 初めてスクエアダンスを見て「ひたすら歩くダンスだね」といった人がいます。そうです、歩くんです。ただ、コーラーの指示を理解してリズムに乗って歩くところにスクエアダンスの魅力があります。踊るには最低8人が必要ですし動作を覚えておく必要があるといった制約はありますが、パートナーは固定していませんし、15分程度で一区切りして休むのも自由です。戦後アメリカから入ってきたダンスで、よき時代のオープンで善意あふれるアメリカの雰囲気を楽しめるところにスクエアダンスの魅力の原点がある、と私は思います。もうひとつ魅力をつけ加えると、一定の動作を覚えてしまうと、あちこちのパーティで多くの人と気軽にダンスを楽しめます。仲間の輪が広がっていくダンスです。

<メインストリーム> スクエアダンスを踊る楽しみには2種類あります。第1は、動作を覚えていく楽しみです。途中では理解できずもどかしいこともあります。今まで踊れなかった動作が踊れるようになった時に深い満足感を味わうことができます。メインストリームはその1つの到達点です。第2は、そうして覚えた動作を使って多くの人と踊る楽しみです。セットになった8人の気持ちが合って気持ちよくダンスの時間を共有できたと感じられれば最高です。間違ってもいいんです。にっこり笑って「ごめんなさい」と言えれば、ダンスにも心にも相当余裕が出てきた証拠だと思いませんか。踊って楽しい人と思われるようになるといいですね。

メインストリームだけでなくもっと覚える楽しみを求

めたいという人は、さらにプラス、アドバンス、チャレンジといった多くの動作に挑戦することができます。アメリカ式のシステムといえます。無理をせず、しかし頑張っって自分の可能性を上げていくといいですね。ただ、その場合でも、メインストリームを楽しむ多くの人とスクエアダンスを踊ることがとても楽しいという、スクエアダンスの第2の楽しみを忘れないようにして下さい。それが東スケの「クラブ」としての魅力を持続していくことにつながります。

<親切心> 親切心をどう発揮するかはとても難しいことだと感じています。セットに踊れない人がいる場合、その人を押しやり引いたりしてコーラーが指示する動作を完了させようとするのは、親切心に基づくものと思います。しかし、踊れないが自分で踊ろうとしている人を不快にってしまう恐れがあります。「きちんと踊れるように勉強しなくてははいけないよ」と忠告するのも、時と場所を選ばないと逆効果になる可能性があります。どうすれば相手から感謝されながら親切な気持ちを表現していくか、小さなことですが、クラブの雰囲気や東スケの魅力を高めていくために大事なことを考えています。

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

普及委員として、東スケの魅力をクラブ員の皆様に理解してもらいビギナー勧誘につなげたいと考え、日頃感じていることの一端を書いてみました。「東スケが好きです」という人がもっともっと増えるといいですね。

永福和泉地域区民まつり

普及委員 今岡さち子

7月17日猛暑の中、クラブ員20名の参加協力で東スケ初めての単独デモンストレーションを行いました。当日は中学生を含む46人の地域の方々が集まりました。スクエアダンス？という方がほとんどで、体験して頂くようセットを作っても最初は緊張でぎこちなかった動きも、和田会長と若松真紀子さんの丁寧な説明とコールに合わせ、クラブ員のリードで動作を覚えて楽しそうな笑顔が見られるようになりました。様子を見ていたセンターの職員さん達3人も“踊ってみたい”と突然の参加で、地域にダンスを広める目的を果たせたと実感しました。今後もスクエアダンスの楽しさを多くの人に知ってもらい趣味の仲間が増えるよう地道に活動を積み重ねていきたいと思っています。

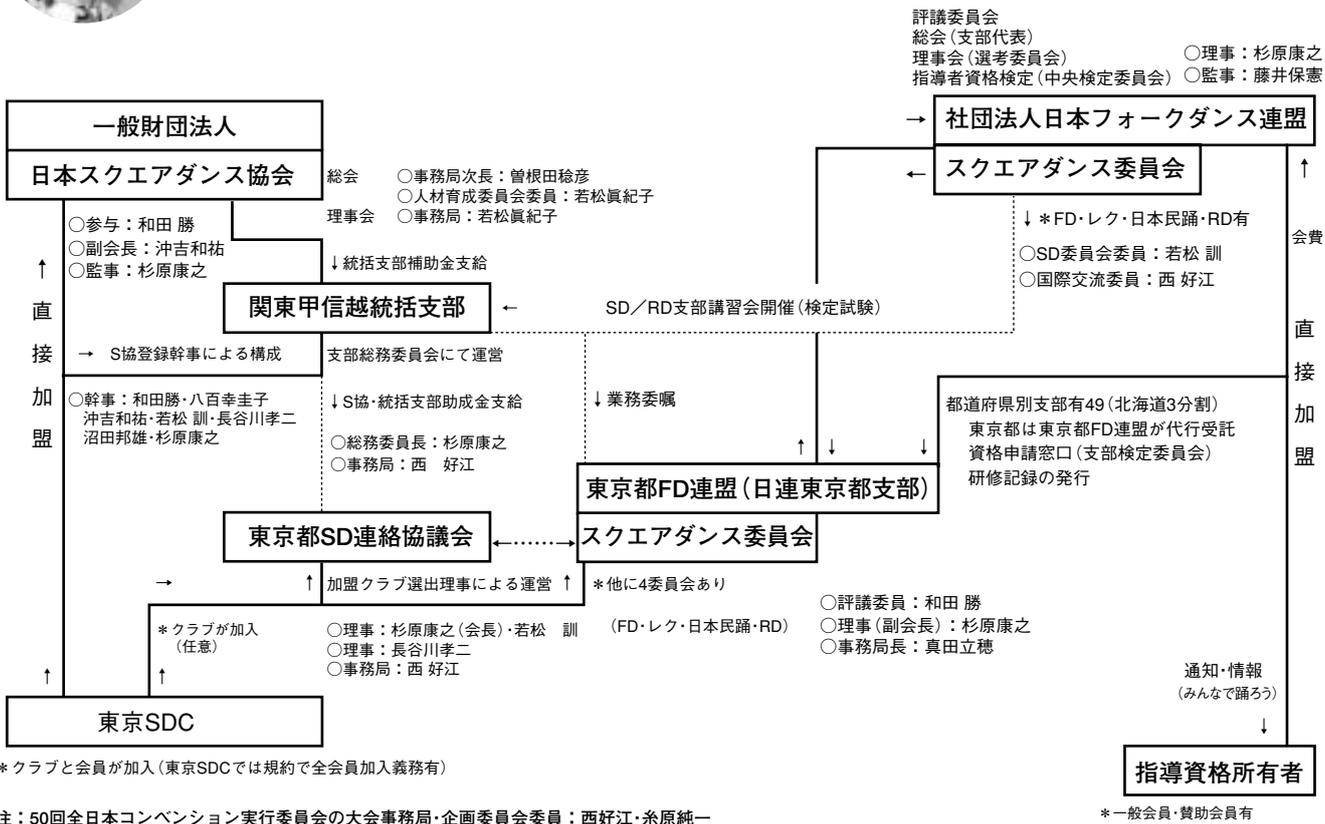


★★★★ SD界全体で活躍する東スケ会員！ ★★★★★

杉原 康之



SD界においても踊ることだけでなくその環境を整備してゆく組織がいろいろな形で存在しております。今回はその組織の中で活動する東京SDCの会員をご紹介します。皆様で応援してあげてください。下記にSD界関連の組織図を記しその中で役職名及び氏名を挿入させていただきます。



注: 50回全日本コンベンション実行委員会の大会事務局・企画委員会委員:西好江・糸原純一

📅 今後の行事予定

- ★ 楽しい“バーベキュー” 10月30日(土)
- ★ クリスマスパティー 12月25日(土)
- ★ スクエアダンス無料見学会
毎月第1土曜日、午後6時(杉並区方南会館)
- ★ 初心者講習無料体験会 3月5日(土)
- ★ 初心者講習会スタート 3月12日(土)

編集後記

記録的な猛暑にもかかわらず、国内外の各種イベントでの思い出多い体験談や多彩で活気ある委員会活動報告を寄稿いただき、ありがとうございました。「東スケ50周年アニバ」の開催日程等も決まりました。今後も皆様のご協力をお願いいたします。

広報委員会